

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

日本農業への正しい絶望法

著者名	神門善久	発行年	2012年
出版社名	新潮新書	ページ数	237ページ
値段	740円	ISBN	978-4106104886
コメント	いかにスバラシイかっていう話より、いかにダメかっていう話のほうがお好きなかたに。 農水省もダメ、JAもダメ、有機栽培も消費者の舌も、何もかもぜんぶダメ。全てを薙ぎ倒すダメ出しの嵐に、あなたは耐えられるか？		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
マルメロ ☆☆☆	野菜の味や栄養が落ちているという話は聞いたことがあり、あったので本当なのだろうなとは思いました。			
	ただ、具体的な名前や地域が示せないのは仕方がないが、抽象的で実感がわかない印象は受けた。これを読んで自分で考え調べろという意味だと受け取っておきたい。			
	全部	273P (80分)		2013/07/17 20:54:57
massa ☆☆☆☆	ダメダメ言われると、いい気持ちはしないけど、それが現状ということで受け止める必要はあると思います。農業の現状を把握するには、読んだ方がいいと思います。			
	全て	237P (180分)		2013/07/15 09:46:40
こだま ☆☆☆	技能（暗黙知）こそが日本農業の重要な部分で、これが急速に失われている事を一冊をかけて嘆いています。農業に関する情報はポジティブな情報しか印象になかったですが、良い悪い両面があって確かに然るべきであると思います。良い面だけでなく、悪い一面にも触れることが出来るものでした。			
	全て	237P (180分)		2013/07/09 17:27:01
じゃけん ☆☆☆	農業についての知識が、まったくないような自分が読めば、十分に絶望できる内容になっていました。その一方で根拠づけが、数値などの客観的なデータのものよりも、筆者の農業に携わってきた経験による部分が多いように感じます。この本の内容を鵜呑みにするのはまずいですが、ひとつの農業論として読めば、視野が広がるように思いました。			
	全て	237P (200分)	3章	2013/05/07 13:58:24

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

ひゃくたむ ☆☆☆	<p>読んだ箇所までだが、農業の衰退は技能の低下が原因だという主張が幾度も出てきて、その理由づけに終始していたように思う。農業に関する技術については、知らないことが多く勉強になった。</p> <p>技術の低下は農業だけでなく、日本全体にも言える事象でないかと思う。その技術低下の大半は地道な作業を好まなくなってきた国民そのもので、この意識改善をどうしていくのが課題なのかと思う。</p>		
	1-108	108P (60分)	2013/05/07 13:05:22

フラン ☆☆☆	<p>子育ての専門家は大学教授でなくてもいい。言い換えれば子供のいない人に専門家が務まるかという話でもある。著者はそのような構造が日本農業を犯した片翼だと言う。他方は日本の消費者の選別眼(味だから選別舌?)が悪いことも一因だという。この2点を理解するために大量の例示を行なっているように思われる。</p> <p>ただし客観的なデータを示すことができない上で納得しろというのは、果たして正しい絶望法といえるのだろうか? 数値化が困難であることは認めるが、あまりにケースバイケースでしかない。結局、著者が絶望していることがわかるだけで、あまり私まで絶望することができなかった。</p> <p>出来れば、これに対する反論書とかがあると面白いかもしれない。自分がそれだけのデータを集めて一人ディスカッションをしてもいいわけではあります。</p>		
	全て	237P (100分)	2013/04/24 12:08:02

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

子どもの最貧国・日本

著者名	山野良一	発行年	2008年
出版社名	光文社新書	ページ数	273ページ
値段	861円	ISBN	978-4334034702
コメント	「貧困」から連想する国と言えば？ 所得格差の大きなアメリカ？ 飢餓で苦しむアフリカの国々？ 東南アジア？ 東欧諸国？ そう考えたあなたは、きっと日本には貧困で苦しんでいる人なんて一握りだと思っている人。そんな人には、一度でいいから自分の今いる日本について知って、考えてみて欲しい。データの見せ方・数字の使い方がとても上手。客観的にわかりやすく、見えにくいものを可視化するグラフはとても丁寧。社会問題に意識を向けるもよし、論文の書き方の参考にするもよし、一読で二度おいしい本でございます。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ひゃくたむ ☆☆☆	あまり精読しないで読んだため、少し荒く内容を掴んだ程度なのですが、こういう事案もあるんだよと中流階級以上の人々に訴えている印象でした。 ただ、格差が大きくなること自体を問題としているため、「格差？別に広がっていいじゃん」的な発想の人には伝わらないかもしれない。(格差が大きくなることの弊害を取り上げるなら別の本になることは内緒) 自民党政権にもどり、生活保護制度の見直しが進んでいる中、こうした問題にどう対処していくのか見ていく必要性を感じました。			
	1-119 207-273ページ	192P (40分)		2013/06/18 18:50:01
555 ☆☆☆	たくさんのデータや論文を挙げ、論理的な説得がなされている。最近授業でも、インパクトだけではなく、論理的なことや、わかりやすさの大切さを考えていたので、伝えるにはそれなりの裏付けが必要なのだなと思った。			
	全部	273P (180分)		2013/05/28 23:16:49
フラン ☆☆	主に統計的な手法を取ってるところは、だいたい疑ったほうが安全かもしれませんが、 R^2 値が0.2なのに $p < 0.05$ なのでって論理がまかり通っているので、もしかしたら作者の論文等の読み方に問題があるかも。ある意味ではその穴を突くという練習にもなります。			
	全部	260P (180分)		2013/05/21 22:36:49

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

<p>くい ☆☆</p>	<p>日本には社会構造上どんなに頑張っても貧困から抜け出せない層があると改めて感じました。本の中に登場する「実際のケース」は心痛めるエピソードばかりでした。 ただ、本の中では筆者にとって都合のよい統計のデータを列挙しているように思えました。そのデータの数字の見方もよく分からないまま、数字の比較だけによって議論を進めているところが多く、論理展開が？であるところが多かったと感じました。</p>	<p>1-164</p>	<p>164P (100分)</p>	<p>2013/05/15 10:43:46</p>
<p>マルメロ ☆☆☆</p>	<p>自分が考えている社会というのは、ごく一面でしかないのかもしれないと思いました。 本文では東工大生のほとんどが直接見たことのないケースが語られていました。 物語調で読みやすくもあるので、ケース紹介だけ読むのもお勧めです。</p>	<p>1-273</p>	<p>273P (120分)</p>	<p>2013/04/25 00:30:05</p>
<p>おさむ ☆☆☆</p>	<p>構造による抜け出せない「貧困問題」が存在することを再認識させてくれた。しかし、データの見せ方が筆者の考えを強調するように使用されていたり、論調の無理がある箇所も散見されたので☆二個減。それでも、ここに書かれてあることはある程度事実なのでしょう。本当の平等とは??革新と安定は二律背反的にしか存在出来ないのか??人それぞれに感じるものが違うと思います。今度は逆の立場から書かれた内容に書籍も読んでみたいと感じました。</p>	<p>全て</p>	<p>273P (200分)</p>	<p>207～ 2013/04/16 10:55:37</p>

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

この世で一番おもしろいミクロ経済学

著者名	ヨラム・パウマン	発行年	2011年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	217ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4478013243
コメント	経済と名の付く授業はイッコも取ったことはありません、という超初心者さん向け。絵ばかりで読むとほとんどない超お気楽そうなつくりだけれど、侮るなかれ。コメントがなかなか本質的で深かったりします。ミクロ/マクロ、どっちからでも。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
潤 ☆☆☆	大学で勉強してた経済学が全部図でわかりやすく説明しているので、もう一回復習できた。			
	全部	217P (217分)		2013/07/30 16:12:08
14 ☆☆	絵で難解なミクロ経済学を解説している本。コンセプトは良いのだが、逆にさらっと読めてしまうために、読み終わった後全くミクロ経済学の知識が残らなかった。笑			
	全て	217P (60分)		2013/07/30 13:46:05
zin ☆☆☆	絵がかわいい。非常に平易に書かれていてすらすら読めた。初学者にはピッタリな本だと思いました。			
	全部	217P (90分)		2013/07/24 11:55:31
massa ☆☆☆☆☆	もう少し早めに出会ってれば単位をとりやすかったかもしれないです。ざっくり何を目的をした学問なのかわかるので、入門書としてとてもよいと思います。			
	全部	217P (120分)		2013/07/15 13:24:10
daasuuu ☆☆☆☆	経済を勉強したことない素人ですが、面白かったのでとりあえずマクロも読んでみようと思います。			
	全部	217P (60分)		2013/07/05 23:27:59

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

0120086144 ☆☆☆	「その手の市場を研究したいのなら、あのゲーム理論のジャングルに戻ることですな!!」至言。			
	この本を絶賛したとかいうMaskin先生も研究室では「その関数本当に微分できるの」みたいな指導をしているだろうと思うと胸が熱くなる。			
	全て	217P (50分)	p.121	2013/05/28 13:13:40
はやぶさ ☆☆☆	ざっくりと味わうのはいいんじゃないでしょうか。overviewを知っておくというのは、勉強する上で見通しが立つので。			
	全部	217P (90分)		2013/05/28 12:54:18
BBB ☆☆☆	本屋でミクロ経済学の本をパラバラ立ち読みしたことがあります。その時はほとんど理解せずに、なんとなく満足して終わってしまいました。 この本を読んで、その時読んだ本の言わんとしていることが今頃になってうっすら理解出来た気がします。 イラストが可愛く、説明が親切なので何回も読んでしまいました、マクロの方もぜひ読みたいと思います。			
	全部	217P (150分)	「おめでとう、これできみもノーベル賞じゃ!」	2013/05/11 19:51:29
なすび ☆☆☆	ミクロ経済学の本質を捕えたいって人におススメ、本というよりは漫画に近いので電車の中で気軽に読めます。マクロ経済学の前にこっちを読んでおいた方が、より二つの学問の特徴と本質的な経済合理的な人間の動きをとらえやすいと思います。			
	217ページ	217P (100分)		2013/05/08 17:10:13
ショーコール ☆☆☆	自分の研究テーマに少し関連しているため読んでみましたが、漫画形式で書かれていて分かりやすかったと思います。テーマが明確で読みやすくこの勢いでマクロも読んじやいそうです。			
	全て	217P (60分)		2013/04/30 13:45:50
まるちぶる ☆☆☆	経済学とは要するに現状分析と現状肯定の学問であり、それ以上の差分はないのかなと思いました。やっぱり今のシステムが最も「合理的」だし、考える中で最も「良い」ものだということを畳みかけられる。ただ、この理解でいいのかは少し疑問です。それはただの定義の問題だって気がするし。 そんなことを考えられるくらいには経済学のことわかりました。無知のベールの中にいるぼくみたいな人にはとても良い本です。			
	全て	217P (45分)	立ち読みで読破できるので特になし	2013/04/11 21:51:06
ちゃんまげ ☆☆☆	ミクロ経済学を全く知らない人から、専門で勉強している人まで幅広い人に有益な本だと思います。 全く知らない人は教養として、もしくはミクロの単位をゲットするための難しい教科書のお供に、勉強している人はミクロをざっくりと俯瞰する、確認するのに使うと便利かと。 とにかく短時間でミクロのポイントを抑えたい人にはこれ以上ない教材だと思います!			
	全部	217P (120分)	目次とchapter1,16	2013/04/11 15:19:16

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

この世で一番おもしろいマクロ経済学

著者名	ヨラム・パウマン	発行年	2012年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	232ページ
値段	1,500円	ISBN	978-4478017838
コメント	みんなが一生懸命努力してるのに、世の中が良くならないって、どういことなの、ねえ！ そのカラクリをしっかり教えてもらえます。しかも爆笑しつつ。経済学の授業を受けていて迷路に入った気がしたら、ここで原点を確認するのもアリ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
zin ☆☆☆	絵がかわいい。初学者にはピッタリだと思う。 経済学の導入としては素晴らしいと思います。			
	全部	232P (90分)		2013/07/24 12:58:16
BBB ☆☆☆☆	ミクロの方を読んでから読みました。ミクロ同様読みやすくとても勉強になるものだと思います。 この本を入門書として機会があれば他の経済学所にも手を出してみようと思いました。			
	全部	232P (232分)		2013/07/21 12:25:26
massa ☆☆☆☆☆	もう少し早めに出会っていれば単位をとりやすかったかもしれないです。 ざっくり何を目的をした学問なのかわかるので、入門書としてとてもよいと思います。 ミクロよりマクロの方が自分は分かってなかったので、マクロの方が読んで楽しかったです。			
	全部	232P (120分)		2013/07/15 13:25:46
recald ☆☆☆☆	マクロ経済学を全く知らない状態で読んだが、わかりやすく面白かった。外国にも池上彰みたいな人がいるんだね。			
	全部	232P (90分)		2013/06/20 23:40:48
daasuuu ☆☆☆☆	これを読めば世の中の経済の仕組みがちょっとだけ分かります。 経済学なんて全然わかりませんでした。ミクロ経済学の方とあわせて読んで経済学に対する抵抗感 は薄れた気がします。			
	全部	232P (60分)		2013/06/12 14:07:32

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

マルメロ ☆☆	専門書としての抵抗はほとんどなく、入門書としては読みやすい。 ただ、これはマンガ形式にしなければいけなかったのかは疑問。		
	全て	232P (30分)	2013/05/20 15:50:49
なすび ☆☆☆☆	ミクロ同様、読みやすいので気軽に本質を捕えられると思います。マンキューを読む前に読んでおくと少し楽になりますw		
	1-232	232P (60分)	2013/05/08 17:13:21
ショーコール ☆☆☆	ミクロ経済学を読んだからこの本を読んだほうが良いと思います。IS-LM分析などが含まれていなく少し物足りない気がしました。しかし入門書としては良いと思います。		
	全て	232P (60分)	2013/05/05 16:17:04

[TOP](#)へ

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

不合理な地球人

著者名	ハワード・S・ダンフォード	発行年	2010年
出版社名	朝日新聞出版	ページ数	311ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4023308763
コメント	行動経済学の「コ」の字も知らない超初心者さん向け楽しいガイドブック。 アンカリングもプロスペクト理論もフレーミング効果も、あ、そんなカンタンなことなんだ、と宇宙人と一緒に大納得。ナッジもヒューリスティクスもサンクコストも、お、これで呑み会のネタが増えたぜとらしくマスター。ペイズの定理になると、ちょっときびしいかな。 そんな感じです。たくさん揃えた行動経済学系の本の入り口としてどうぞ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
0冊からの追い上げ ☆☆☆☆	クイズに答えつつその不合理さに用語がついていて学んでいく方式。クイズと解説の分量が適度で良い。			
	3章まで	156P (60分)		2013/07/31 19:22:02
ばみゆ ☆☆☆☆	印象に残った文「先天性の解釈がその人の考えを決めてしまう。」			
	すべて	311P (400分)		2013/07/30 20:02:57
だんぼーる ☆☆☆☆	直観で確率を計算すると常識に引っ張られているという、理系としてはちょっと衝撃な内容からスタート。 そこまで深い内容までは掘り下げないものの、行動経済学の基本を身近で分かりやすい例で紹介していて、興味をひく作りです。 私は専門ではないですが、こういう不合理性が、市場経済の潤滑剤になっているのかもしれないなあ、とちょっとり思いました。			
	全部	311P (70分)		2013/07/02 13:38:21
rk ☆☆☆☆	経験上「あ〜、こういうことあるわ〜」ということに学名が付いているというイメージ。真面目に読もうとすると、行動経済学の勉強をしないといけなくなるので、へえ〜ってぐらいで読むと楽しい。 言い方とか、順番によって人の選択が異なる。そういうことを生かせたらなあ〜と思います。			
	全部	311P (180分)	各章の頭とその解説	2013/06/25 15:30:58

kabadie ☆☆	自分はどうだろう、不合理か、合理的か、そうやって考えて読むと楽しい本。			
	11-311	300P (240分)	135-156	2013/06/17 20:38:49
PON ☆☆	タイトルに惹かれて借りてみた。 タイトルからは何か面白おかしく書いてあるような気がしたのだが、個別の事例を解説しているだけなので、2章分読んで、飽きて投げた。			
	1-133	133P (120分)		2013/05/28 00:16:35
Harley Davidson ☆☆	単純なクイズと、ちょっとした解答、解説の繰り返しです。 雑学が好きな人には面白いだろうし、読んでいて「へえー」って感じのところもあります。 ただ、そんなに勉強になる本ではありません。			
	全部	311P (100分)		2013/05/18 19:20:06
ショーコール ☆☆☆☆	自分の研究と関連があるので購入して読んでみました。解説あり、途中で具体例を交えた問題がありとわかりやすく書かれていると思います。テレビショッピングの謎の解明など身近な疑問も解決出来るので面白いです。今度飲み会があるのでこの話にあったいくつかを使いたいと思います。			
	全て	311P (120分)		2013/05/11 23:10:39
フェリー ☆☆☆☆	日頃の自分の行動って理論的に分析してみるとこんなに矛盾だらけなんだと驚きました。でも理論的に合理的に動けないのが人間の面白いところだと感じました。			
	1~208	208P (80分)		2013/05/06 21:31:46
まるちぶる ☆☆☆☆	ページ数の位置がおもしろい。ギョーカイ用語で言う『ノンブルがノドについてる』のです。 久々に見た。シャレオツ。 聞いたことあるけど現象の名前までは覚えてないなーというものがギュギュッと集まっています。読んだら人に話したくなる、話題作りにはなかなか良い本だと思います。研究室に一冊あると楽しいかも。			
	全て	311P (120分)	pp.265-268 機会費用	2013/04/18 21:10:07
万年筆 ☆☆☆☆	行動経済学の知識をすごく簡単に紹介している本。本の進み方としては、著者であるダンフォードと某CMに出ている宇宙人ジョーンズ二人の対話形式で進んでいきます。また、扱っている具体例も日常でよく遭遇するようなシチュエーションのものばかりなので非常にわかりやすいです。たとえば、おいしいものを食事の最後に残してしまうこと、ビールは一杯目がなぜおいしいのかなどといったことなどが挙げられています。このような現象が起こる理由とまたその現象の名前を説明してくれているため、読み終わったあとは賢くなったような印象が残るため素晴らしい！ ただ、これだけでは雑学でしかないということを頭の片隅にとどめておいたほうが良さそうです。			
	全部	311P (90分)		2013/04/14 21:16:36

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

経済は感情で動く

著者名	マッテオ・モッテルリーニ	発行年	2008年
出版社名	紀伊國屋書店	ページ数	302ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4314010474
コメント	イタリア仕込みの行動経済学。話題はほかの本ともかぶるけど、トピックごとにいていねいに解説してあるのがメリット。 楽しい実験例が豊富なので、つつい呑み会などで話したくなるけれど、度が過ぎてウザがられないように。これを「後悔回避 regret aversion」と申します。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
0冊からの追上げ ☆☆☆	問が多くて飽きてしまった。もう少し問を減らして内容を膨らませた方が個人的には読みやすいと感じた。			
	最初の方をばらばらと	100P (60分)		2013/07/31 21:55:27
zin ☆☆☆☆	行動経済学を初めて学ぶ人にとっては良書だと思う。 自分だったらどうするだろう？と考えながら読むとさらに楽しめるはず。 逆にこれを使ってどうやって人を動かそうか考えるのもまた一興。			
	全部	302P (180分)		2013/07/25 13:22:01
BBB ☆☆☆	少し時間がかかってしまいましたが、事例の描写が豊富で経済系の読み物にしては読みやすかったと思います。章毎に教訓としてまとめも書かれているので、頭の中の整理もしやすく嬉しかったです。			
	全体をパラパラ	250P (180分)		2013/07/21 12:54:03
くい ☆☆☆☆	授業で扱ったので読んでみた本。 多くの分かりやすい事例があり、授業で見た内容についてはさらに深く理解できるし、新しい内容についても興味深く読むことができました。 ただ単に能動的に読むのではなく、自分が主体となり「自分だったらどの選択をするのか」を考えながら読んでいくので面白かったです。			
	1-246	246P (180分)		2013/06/04 18:11:50

ショーコール ☆☆☆	様々な事例が紹介されていて行動経済学、神経経済学の入門書としてはいいと思います。また項目ごとに「教訓」が書かれており面白いです。しかし索引がないため不便だなと思いました。			
	全部	302P (150分)		2013/06/03 17:47:30
25 ☆☆☆	数ある行動経済学の本の中でも見やすいほうだと思います。事例は豊富ですが、納得出来ない事例も多かったです。よいところを挙げれば、例えば所有効果なら所有効果の説明を短い文でまとめてあるところです。			
	すべて	302P (150分)		2013/05/23 15:50:23
なすび ☆☆☆☆	各現象ごとに問があり、入門書としてはおススメ。だけど、研究で行動経済学をやろうとしている人にはあまりおすすめしません。			
	1-302	302P (150分)		2013/05/08 17:11:51
マルメロ ☆☆☆	問いがたくさんあるので自分に当てはめて読みやすい。 また、節ごとに「教訓」としてまとめがあるので、そこを読んでから興味があるところを読むこともできます。 経済に興味がなくとも、自分の理性に自信がある人はぜひ設問に挑戦してみてください。			
	1-279	280P (90分)	105-111	2013/04/22 13:35:04
まほら ☆☆☆	豊富な例をもとに自分だったらどうするか、を常に考えさせるので、おもしろいし、行動経済学の入門には最適だと思う。たまに本の意図とは別の選択をしてしまったりして納得できないのはご愛嬌。			
	1-95	95P (60分)		2013/04/17 14:36:46

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

予想どおりに不合理 増補版/不合理だからすべてがうまくいく

著者名	ダン・アリエー	発行年	2008年
出版社名	早川書房	ページ数	314ページ
値段	1,800円	ISBN	978-4152091666
コメント	小ネタのオンパレード、あたかも回転寿司の如し。 オレってどうしていつも締め切り直前にしか始められないんだろ、とか、ダメカレだからさっさと振っちゃいたいの に、なんで見切りを付けられないのかしらん、とか、日頃のあなたの不合理行動を実験ですっきり証明してみせま す。 なんだ、みんなそうなんだと安心できるかもしれないけれど、だからって問題を解決してくれるわけじゃないのね。 そこが行動経済学のウィーク・ポイントと見た！		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
14 ☆☆☆☆	長いので興味ある所だけ立ち止まって読んだ。 行動経済学の考え方を、実際の人間の行動の例に当てはめて書いてある本。 いつか全て読んでみたいと思います。			
	つまみ食い	200P (300分)		2013/07/30 13:54:38
だんぼー ☆☆☆☆	つねに合理的に行動できるとは限らない、それが人間のいいところなんじゃないかと思います。 そこを具体的な事例を挙げつつ追求していくのが本書。 しかしこの分野、研究して定量化しちゃうといろいろなことに悪用されそうで怖いなども思っ たり。 いずれにせよ、行動経済学を知らない人でも引き込まれる良い本だと思います。			
	全部	314P (165分)		2013/07/28 21:51:08
ショーコール ☆☆☆☆	行動経済学の入門書です。例が、分かりやすく面白いです。行動経済学系の本3冊読んだ のですが、1番面白かったです。			
	全て	314P (150分)		2013/07/25 10:36:34
じゃけん ☆☆☆	バラバラとつまみ読みしました。 人間はなぜ不合理に動いてしまうのかについて納得できる説明と対処法もかかれていました。けれ ども僕には実践できそうになく、共感できませんでした。			
	バラバラと気になった ところ	90P (150分)		2013/07/22 14:13:33

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

<p>はまじ ☆☆☆☆☆</p>	<p>この本を読み、パソコンショップでのアルバイトの時給が100円上がりました。なぜなら、アンカリングの応用とお客様の名前を暗記で、セキュリティソフトを店舗で一番多く売ったからです。不合理な人間心理を見事に言い当てています。ここに出てくる話は日常生活の至るところで応用可能です。何度も読み直したいあまりに、読み終わった後に、アマゾンで購入してしまいました。</p>	<p>1-430</p>	<p>430P (240分)</p>	<p>91 2013/07/01 20:35:47</p>
<p>曦 ☆☆☆☆☆</p>	<p>最初はどんな本だと思って、Googleで検索したら、Dan Arielyのbest-sellerだと分かりました。中国でも一時流行っていて、「怪誕行動学」と呼び、「怪誕」が不思議で奇 尺だという意味で、初めて見る読者が「怪誕行動学」に気になると思います。</p> <p>本の内容に入ると、「人はいつも理性的に考えているわけではない、もしくは感性的に考えたほうが多い」と示されています。</p> <p>そして、この本は、初心者の僕にとって、「行動経済学」について分かりやすく説明されました。しかし、著者は実験をやる時に、大体TOP大学の学生を被験者とし、納得力がちょっと足りないなあとと思います。</p>	<p>全部</p>	<p>314P (120分)</p>	<p>2013/06/14 12:42:23</p>
<p>なすび ☆☆☆</p>	<p>とても分厚いのでつまみ読み。</p> <p>行動経済学の基礎から教えてくれる本ではなく、著者の経験をもとに面白い人間の非合理的な行動について解説している本</p>	<p>2章、8章</p>	<p>70P (60分)</p>	<p>第8章 2013/06/07 21:27:13</p>
<p>あきう ☆☆☆</p>	<p>章題を選んで好きなところを読むのがおすすめです！ 私は先に章ごとの最後にある「まとめ」を読んでから気になった本編を読みました。 特に2章は就職活動前に将来の仕事について考えるいい契機になりました。</p>	<p>2.3章中心にばらばら</p>	<p>100P (40分)</p>	<p>2章 2013/05/30 16:55:23</p>
<p>Harley Davidson ☆☆☆</p>	<p>行動経済学を全く分からない人でもすらすらと読めます。 納得できる内容ですが、個人的にはあんまり興味を持ってませんでした。</p>	<p>全部 ばらばらと</p>	<p>250P (50分)</p>	<p>2013/05/27 16:47:09</p>
<p>ちょんまげ ☆☆☆☆☆</p>	<p>理屈だけでは語れない人間の心に関する不思議な事例が満載で、思わず「あるある」と読みながらうなずいてしまう。読み物として面白いだけでなく、科学的根拠もバランスよく示しており、研究対象としても興味深い。</p> <p>特に伝統的な需要と供給から求められる価格の均衡に喧嘩を売る姿勢は見ていてワクワクした。日本でも行動経済学（認知心理学）の定量的な研究はかなり注目されているようで、NHKのオイコノミアという番組で司会をされている阪大の大竹文雄教授のブログでも多数紹介されている。</p> <p>もし次に本が拡充される予定があれば「人はお金だけでは動かない—経済学で学ぶビジネスと人生」（ノルベルト・ヒーリング著）など面白そうだと思います。先生。</p>	<p>飛び飛びで250ページ</p>	<p>250P (90分)</p>	<p>2章 2013/05/20 18:51:50</p>
<p>25 ☆☆☆☆☆</p>	<p>行動経済学の面白さがよく分かる。実験を通して人間がいかに不合理であるか、そしてそれがいかに予想通りのものであるか（ここが重要）をみせてくれます。そしてなんかそれが悔しいけれども正しく納得してしまいます。</p>	<p>すべて</p>	<p>440P (880分)</p>	<p>5章の実験 2013/04/21 22:19:39</p>

まるちぶる
☆☆☆☆☆

論文リストまで楽しい。

『不合理な地球人』を読むなら、こちらを手にとった方が良いと思います。より詳しいし、つまみ食いにも便利。

結句、行動経済学というものは、古典経済学の前提の誤りを指摘し、それらが殆どすべて「人間の思い込みによるミスリード」であるとして（古典経済学もこの誤謬に従っている！）、個別具体的な現象を追う学問でしょう。

それを知ってしまった我々にできることは、思い込みを（可能な範囲で）疑った上で意思決定を行い、そして決定を振り返らないことです。最終的に何がしたいのかってそりゃ満足度をできるだけ高めたいんだから、振り返ってはならぬ。「見るなのタブー」に耐えるのです！

全て

440P (180分)

pp.188-189

2013/04/21 18:21:04

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

ヤバい経済学/超ヤバい経済学

著者名	スティーヴン・レヴィット&スティーヴン・J・ダブナー	発行年	2007年
出版社名	東洋経済新報社	ページ数	379ページ
値段	2,000円	ISBN	978-4492313787
コメント	行動経済学系の本のなかでも、人ひとりの行動でなく、社会全体の構造をマナイタに乗せて料理しているところが特徴です。犯罪の発生率の劇的減少を中絶の合法化から説明する、というように。ひとつのテーマの掘り下げがそこそこ深くて、あまりコマギレでないのもGOOD。そして、語り口の軽やかさは、さすがベストセラー。超ヤバい続編もどうぞ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数(時間)	立ち読みポイント	投稿時間
0冊からの追い上げ ☆☆☆	インセンティブによる行動の変化、情報の非対称性など身近な例を交えて実感できる。ただ内容の割に冗長と感じずにはいられなかった。			
	4章までとコラムいくつか	180P(100分)		2013/07/31 03:37:55
ゆう ☆☆☆☆☆	人間の行動を定性的に分析していて面白かった。NY市の話が一番納得			
	すべて	379P(200分)		2013/07/31 00:44:08
ショーコール ☆☆☆	何がヤバイのかよくわかりませんでした。トピック毎にそれぞれ深掘されていて面白かったです。先生が生徒の答案を変えるという事例には驚きでした。			
	全部	379P(180分)		2013/07/20 10:49:03
フラン ☆☆☆☆	何がやばいのかよくわからなかった。			
	経済学と聞いて数式をいじったり(そんなイメージは私だけ?)、マネーゲームだとか、神の見えざる手だとかを想像するなら、この本は多分経済学書ではない。本書には(多分)+記号すら出てこないし、いつ株を買うべきかなどは(きっと)出てこない。人間のインセンティブ(とそのリスク)から社会を見ようとする本だと思う。			
興味深いのは相撲の八百長問題。日本の学者(etc)は全くやってない相関取りを、全くの素人(このデータを使うために相撲を見たい)人が使うところから日本人を見た気がする。もしかしたらそんな論文があるのかもしれないが、民衆の目に届いていないという意味ではこっちのほうがウワテかな?				

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

	一応1・2章が完全独立3以降がゆるやかに繋がっている程度なので、興味を持った章から読み出せばいいと思います。			
	(やばいだけの方)13章	171P (180分)		2013/07/14 22:03:54
pinpon ☆☆☆☆	学校の先生がテストの回答に不正をしているとはまったく信じられなかったです。人はインセンティブ次第でどんなインチキもするのか。			
	1-212	212P (90分)	27-43	2013/07/04 16:51:30
曦 ☆☆☆	人間のやつって、ヤバいですね。 温室化の原因と結果がまだ分かりませんが、色々の解決策が発表された。危機感を持っていますね。一方、自分の手にウイルスを持つなんてないと医者さんたちが思って、危機感がどこに行きましたか？ 面白い本ですが、理解しやすさとしては、ちょっと足りないと思います。			
	全部	379P (150分)		2013/06/17 13:52:16
あきう ☆☆☆	興味がそそられるけど、学校では習えないようなトピックについて詳しく述べられていてとても楽しく読むことができました。 まったく経済学について勉強したことがないですが、実験に基づいて考察する点は自分の研究と同じだなあと思いました。			
	全部	379P (180分)	169-207	2013/05/29 20:10:09
青豆 ☆☆☆☆	第1章から立ちんぼをテーマにするといった興味深い内容。 経済学を直接学んだことはないですが、学問的興味をそそる導入書としては中々面白いと思いました。			
	1-150ページ	150P (180分)	27-31ページ	2013/04/22 23:21:47
まるちぶる ☆☆☆☆	行動経済学の本をここ一週間で3冊くらい読んでいて、ああ、お脳が飽きてしまった。この本が行動経済学の範疇に収まりきらないという事実を抜きにしても、結局何を読んでもどこかで見たような気がする。この本もどこがヤバいのか、僕にはもうわかりません。したがって星をつけるのはやめておきます。……そうもできないみたいだから、平均に近い4を選んでおきます。 しかし、読み切れたということは、きっとそこまで退屈な本ではないのだろうな。各章独立だし。おまけが楽しいです。			
	全て	440P (180分)	好きな章から	2013/04/22 21:44:16
25 ☆☆☆	扱うテーマに興味があれば、くだらないことやよく考えれば当たり前のことも、その背景や原因についてデータの中から納得させられる答えが得られる、という面白さがあると思う。個人的には例示がクドくてその部分は好きではないです。			
	1-59, 213-255	102P (90分)	45-50	2013/04/16 12:58:44
いわし ☆☆☆☆	一見不思議な現象も、よく見れば合理的な経済学的理由がある。 または、一見合理的に見える行動も、経済学的には非合理である。 経済学の枠に捉われず、現実に切り込もうとするところがよかったです。			
	1-48, 169-207	87P (120分)	188-190	2013/04/15 21:07:36

ちゃんまげ
☆☆☆☆

およそ教科書には載っていないようなヤバいトピックばかりで楽しく読むことができました。
余所行きのテーマしか扱わない教科書だと得ることができない視点を与えてくれる一冊です。

1,3,4,5章

150P (120分)

一章

2013/04/15 20:47:06

[TOP](#)^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

競争と公平感

著者名	大竹文雄	発行年	2010年
出版社名	中公新書	ページ数	245ページ
値段	780円	ISBN	978-4121020451
コメント	何を以て「公平」と認定しますか？ 社会が大きく壊れてしまった3・11以後、この問いはとても切実に響きます。 職業や賃金は能力に応じるのが公平？でも、努力と能力は比例しないわけだから、がんばっても低賃金、怠けても高賃金になっちゃうけど、それでOK？ 諸外国と日本との価値観の違いなど、データをもとにたくさんの問題の切り口を提示してくれます。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
0120086144 ☆☆☆☆	競争嫌いな日本人という章だけ読んだ。 私は競争が好きで競争には長けてるけど競争に能力特化させたあまり競争しかなかった人間をゴマンと知っているのが今のように競争競争みたいなスローガンは嫌いです。 切磋琢磨して勝ち上がった勝者を生むだけが競争じゃない。相手を蹴落として最後に生き残ったタイプの勝者だっているんだ。			
	5-78	74P (40分)	一章	2013/07/30 20:03:32
マルメロ ☆☆☆	女性と男性の競争観の差の部分が面白かったです。東工大に意外と女子校出身者が多いのもこういう理由なのかなと思いました。			
	1,2,章	156P (90分)	25-42ページ	2013/07/22 00:45:57
kabadie ☆☆☆	立ち読みポイントに挙げたのは「格差社会」のところ。 広告代理店の人が造り出した「勝ち組」「負け組」という言葉は自分たち日本人の首を絞めていて、でもそれを統計とか数字で証明することができないというジレンマに陥っているのかもしれないと感じて少し悲しくなった			
	プロローグ、79-156	98P (60分)	125-127	2013/07/20 16:20:01
pinpon ☆☆☆☆	重要なことは、競争を促す制度作りと結果を分配する社会保障を同時に行うことであるが、実際は片方しかやられないので、いつまでも不公平感が残る。			
	1-113,後半バラバラ	150P (90分)	1-12	2013/07/03 19:18:27

book9648 ☆☆☆	急いで読むとよくわからないが、じっくりと自分なりに考えながら読むと面白い。 この本を読んで、競争に対する考え方が少し変わったと思う。			
	1-233	233P (240分)	105-112	2013/05/21 12:28:21

いわし ☆☆☆☆	何を公平と感じて何を不公平と感じるかについての色々な事例があっけこうおもしろかったです。男性の方が女性より競争を好むから出世などでも有利になることが多いため、その分女性を幹部にする人数を今より押し上げるというくだりは面白かったです。			
	1-92	92P (90分)	72-75	2013/05/15 13:27:31

Eve ☆☆☆☆	タイトルは硬いので一見難しそうだけど、読んでみると例えがとても分かりやすいし面白い！今までになかった視点から展開されていて、いろんな価値観があるんだなーと改めて感じた。			
	全部	245P (200分)		2013/04/26 08:02:00

ほしほし ☆☆☆	日本人の競争に対する姿勢と、公平感を感じる時を、具体例を交えながら述べていく。競争により大きな成果が挙げられる市場経済だが、日本人、特に女性は競争を好まない。また、平等を好むために、公平感に対して、常に目を光らせている。			
	1-245ページ	245P (176分)	67-70ページ	2013/04/24 14:56:20

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

大相撲の経済学

著者名	中島隆信	発行年	2008年
出版社名	ちくま文庫	ページ数	237ページ
値段	680円	ISBN	978-4480424280
コメント	相撲協会とは、これすなわち250年も続いている格闘技ビジネスのシステムなり。実力主義なのに年功序列。神とも崇められているはずの貴重な横綱の給料はたった282万円。年寄株に八百長と数々の特殊性に彩られたこの相撲産業を経済学の視点で分析すると、さてどうなるか。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
0120086144 ☆☆☆☆☆	力士の給与体系が固定給+能力給のような話が興味わいた。変革を嫌いながらも競争メカニズムを失わない、よく言えば「バランスのとれた」、悪く言えば「なあなあ」な相撲協会の在り方は、伝統に固執・あるいはあぐらをかいた古いのではなくむしろ50年先を行ったものだと思っている。 あとこの著者の人はゲームの言葉を身につければもっといいもの書けると思います。			
	15-129	115P (40分)	八百長(111~129)	2013/07/30 19:30:42
フラン ☆☆☆	個人的には八百長が悪いとも言いがたいがなあ。ある意味では助け合いの精神みたいな感じだから……。現金が動いたらさすがに良くないと思います。 さて、そんなことで話題の沸騰した大相撲。特殊な業界であるがために、経済学のメガネを掛けてみると面白そうだと思う本。高度な数学・統計を扱ってないのでお気軽にどうぞ。 酒のつまみになるかはわかりませんが、今日まで生きてきたシステムです。意外と合理性があって面白い。特にそれが一般論とずれている時。根が同じなのに発現が変わるといのは非常に面白い。 八百長に関してはヤバイ経済学も触れているのでよろしければ。			
	21-131	110P (80分)		2013/07/20 18:28:30
kabadie ☆☆☆☆	一日に7000キロカロリーも食べて昼寝もしてあの体型を作り上げていることはまあ知っていたが、それがほとんど脂肪ではなく筋肉で、新弟子たちが部屋に入ってから最初は痩せていくというのが驚きだった。 こんなにも実情が知られていない国技を持つ国というのも珍しいと思う。			
	75-130	55P (30分)	3章	2013/07/20 16:26:52

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

ばみゆ ☆☆☆	内部事情をコンパクトでわかりやすくまとめた本。			
	すべて	237P (230分)		2013/07/09 10:45:50
book9648 ☆☆☆☆	この本を読む前は大相撲にはあまり興味がなく、最初のうちはわからないところは読み飛ばしていたが、読んでいるうちにだんだん面白くなってきた。八百長の分析が興味深かった。 大相撲は伝統的スポーツで、独特の雰囲気面白い。			
	全部	270P (240分)	111-128	2013/07/02 12:16:46
Harley Davidson ☆☆	相撲が好きでない人にはつまらないと思う。力士の1日がどんなものか知ることができます。			
	1-261	261P (140分)	第4章	2013/05/18 19:06:12
ちょんまげ ☆☆	あまり読み進められなかった。撲界の習わしを数字で読み解くというのは一種のタブー感があって面白いと思った。			
	1-90	90P (30分)	各トピックの分析手法	2013/05/14 13:13:28
daaasuuu ☆☆☆	相撲が他のスポーツと違うのは文化的な側面を持っているということ。それを考えると相撲独特のきまりがよくできたものであることがわかる。			
	1,2,4,5,8,10,終章	125P (60分)	2章	2013/04/15 17:44:54
みね ☆☆☆☆	相撲といえば、やはり武道の一つという伝統的なスポーツ、その中の経済問題はかなり複雑。			
	1-253ページ	130P (130分)	40-51ページ, 154ページ	2013/04/12 10:38:20

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

統計学が最強の学問である

著者名	西内 啓	発行年	2013年
出版社名	ダイヤモンド社	ページ数	304ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4478022214
コメント	統計学ナニソレのかたは、とりあえず回帰分析の表くらい読めるように。 統計学まかせろのかたは、会得したスキルが実社会でどう役立つかを押さえるために。 それぞれのニーズに合わせて活用できる小回りの良さが身上。とりあえず最初に叩き込まれることは、ビッグデータにダマされるな！です。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
0冊からの追い上げ ☆☆☆	学部時代統計学を専攻していた立場としては物足りない。だが数学さっぱりな人にとっては導入としてはいいのかな。これを読んだあとは実際にどうやって使うのか、どう結果を読むのかを学んで使えるようになってから理論に入れば割とスムーズにいけるのでは。 でもなんでこんなにこの本が売れているんだろう、、、この本を読んだ人のどれだけがさらに統計を実際に勉強しているのかが気になるところ。			
	全部	304P (120分)		2013/07/31 16:35:18
おいしい ☆☆☆☆	新聞とかテレビとかに載っているデータは本当に必要なものなのか？考えさせられました。統計学は院試勉強の時挫折しましたが、この本はそんなことは関係なく読み切れました。			
	全部	304P (120分)		2013/07/30 21:57:15
0120086144 ☆☆	つい6時間前に計量経済学の単位を落としたものですこんには。 ただでさえ計量経済についてモチベーションが存在しないのに頻度主義的な計量経済学を半年やったあとで「経済学はベイズのほうが相性いい」と言わないでください死にたくなります。計量経済学の教官も頻度主義教えながらベイズ主義者だったのでなおさらです。 演繹と帰納みたいな違いは経済学と情報科学の相性の違いみたいなものでしょうかと少し納得しました。情報科学の偉い先生は「頻度主義を教えてください」とベイズ主義経済学者におっしゃったようです。ここで「歪ん」だのかなと。 ちなみに経済学実験をやってる友人は「データは見せ方」と言ってました。自分に都合よく加工することがキモらしいです。 紅茶について ミルクを先に入れたほうがなんとなく良いというのはこの日本人たる私でさえ経験的に気付いま			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

	す。味に無頓着すぎる。			
	100-133,245-276	66P (30分)	100	2013/07/30 19:21:26
14 ☆☆☆☆	ちまたで流行りのビッグデータ。でもそれって統計学的にはそんなに情報量必要ないよって意見を打ち出す本著。だからこそ、必要量だけを精査することで、正確性の劣らないリサーチ結果を生み出せる統計学は素敵な学問だろう。			
	全て	304P (200分)		2013/07/30 13:43:47
フラン ☆☆☆☆	統計の教科書の副読本として読むといいと思う。全体的に俯瞰する立場から書かれている印象。実際に統計処理するのは他の本でないといけませんが、そもそものデータ処理という観念について触れている。 Excelにデータを打ち込んで「こういう結果が出ました！」としか言っていない方にこそ読んでいただきたい。 なお、おすすめポイントとして紅茶にミルクを入れるか、ミルクを紅茶に入れるかという事で味は変わるのかという実験を載せた。統計学がここで生かされたこともすごい、それ以上にイギリス人の紅茶への愛が恐ろしい。(その味の違いがわかるのだから……。)			
	58-201	154P (70分)	105-106	2013/07/26 10:01:35
フェリー ☆☆☆☆	結果をきれいに示したグラフだけしめしても上司に「ふうん」と言われるだけ……。もっと工夫した資料作りをこれから心がけます！			
	1-304	304P (180分)		2013/07/25 11:42:51
zin ☆☆☆☆	統計の入門書としてはいいと思います。 中には当たり前じゃない？ってこともちらほら…。 統計もう一回しっかり勉強したくなった。			
	全部	304P (210分)		2013/07/24 13:22:31
はな ☆☆☆☆	統計学初心者の自分にもあまり難しくなく、読みやすかったです。わざわざ統計学を学ばなくても、そのくらいなら普段から…。と思うような例もいくつかありますが、概念を体系立てて確立したことによって、一般的に普及したってところはやはり凄い。			
	全部	304P (240分)		2013/07/23 14:28:28
おさむ ☆☆☆☆	統計学の仕組みというよりも、統計学・データに関する考え方を説いている一冊。日経新聞の「今週最も読まれたビジネス書ランキング」という欄でここ最近見ないことのなかった本ですが、統計学を学ぶ人間として読んで損はなかったと思える内容でした。			
	全部	301P (120分)	180~201	2013/07/20 16:11:34
Shushu ☆☆☆☆	統計学をこの本でまかなうほどの内容ではなく、様々な手法の紹介して統計学の全体像をつかませる内容だった。 数式も少なかったので読みやすかった。			
	全部	304P (200分)		2013/07/18 23:17:12
pinpon ☆☆☆☆	分布やサンプル調査のやり方が分かると世の中に出ている数字に騙されなくなる			
	1-100,200-250	150P (40分)		2013/07/16 19:28:31

<p>AM5:42 ☆☆☆☆</p>	<p>全体の方向性を定める手法、ある意見や提言の根拠を強める手法として統計学の最強さがあることを感じた。 ただ、ミクロな動きを読み取ることができないのが弱点であって、そこからは実態調査を行わなければ信憑性が高まらない。 じゃあなぜ統計を高校や中学の教育カリキュラムに入れないのか?? もっと基礎知識くらいは知ってから社会に出たい、と思いましたよ、社会工学科さん。</p>	<p>2-33</p>	<p>31P (30分)</p> <p>2013/07/16 18:00:11</p>
<p>蛭田 ☆☆☆☆</p>	<p>ほぼ統計学について知らない人にとっては読みやすく、興味があるなら一度目を通すのもいいと思う。 お堅い参考書とは違って、かなりフランクな内容なので抵抗は少ないはず。 これが一般人受けしているらしいのは不思議だが・・・ 専門書にするのはさすがに無理があるが、ある程度統計学の知識がある人でも、暇つぶし程度にはなると思う。</p>	<p>全部</p>	<p>304P (200分)</p> <p>2013/07/11 18:08:40</p>
<p>ショーコール ☆☆☆</p>	<p>統計学の入門書というよりは案内本としては、とてもいい本だと思います。これで興味を持った人は別の本を読んで学べばいいと思いました。自分としては数式が非常に少なかったのであまり満足しませんでした。</p>	<p>全部</p>	<p>304P (210分)</p> <p>2013/06/21 12:58:43</p>
<p>25 ☆☆☆☆</p>	<p>売れてるだけあって読みやすい。 5章までは統計学って何ぞやって人におすすめです。6章は学問分野（目的）の違いと統計に対する考え方の違いについてで、自分としては興味を持てる部分でした。 終章は統計リテラシーの生かし方で、学生にとっては一番実用的だと思います。 タイトルは結構好き。</p>	<p>ほぼすべて</p>	<p>304P (150分)</p> <p>p170</p> <p>2013/06/18 18:07:33</p>
<p>くい ☆☆☆</p>	<p>統計学に興味ない人が統計学に興味を持つためにはいい本だと思う。 統計学の入門書というよりは紹介みたいな感じ。 統計学の本なのに数式がほとんど出てこず、個人的には物足りなかった。</p>	<p>全部</p>	<p>304P (200分)</p> <p>2013/06/18 15:17:33</p>
<p>joker00 ☆☆☆</p>	<p>統計学の小難しい分析がこんなところで役に立ちますよと。そうした紹介としては読みやすい。 なぜこの本がそんなに売れるのか、ビジネスの役に立つかは甚だ疑問であるが、知識として蓄えておく価値はあるかと思う。</p>	<p>全部</p>	<p>304P (90分)</p> <p>2013/06/18 13:11:41</p>
<p>曦 ☆☆☆</p>	<p>とにかくいい本でした。 最初から問題を出して、統計学で解決します。そして、この方法を使うなら幾つの限界があり、次の章に新しい考えを出します。このまま繰り返し、流れとしては理解しやすいと思います。 しかしながら、入門書と書きましたが、統計学を紹介するだけで、統計学を勉強したい方が教科書の方におすすめです。そして、内容としてはある以前読んだ本と大体同じです。最後、「最強の学問」とか「最強の武器」とかの言い方、科学としては良いのかと思っています。</p>	<p>全部</p>	<p>304P (240分)</p> <p>2013/06/03 15:06:37</p>

daaasuuu ☆☆☆☆☆	<p>統計学の歴史的背景から現場での使われ方など幅広く扱っているが、統計学がどのように使われているかだけを知りたい人にとっては専門用語が出てきて分かりにくく、統計学を学んでいる人にとっては数式が全く出てこず物足りない、という感想を持たれるかもしれない。しかし、いい意味で中途半端であるので、これから統計学を学ぼうとする人にとってはオススの一冊。題名もモチベーションを上げてくれる。</p>	全部	304P (240分)		2013/06/03 01:55:41
ちょんまげ ☆☆☆	<p>統計学が「最強」かはどうかかわらんが、日常生活との親和性がすごく高い学問であるということが知れるという点で本書は良書なのではないかと思う。ただ、全体を通じて露骨にビジネスマンに向けて売ってるぜ感が出ていて個人的にあまり好きではなかった。数式を使わないことでわかりにくくなっている記述も目立ったので、そこはもう少し臨機応変に工夫しても良かったのではないかと思った。</p>	全部	304P (200分)	三章	2013/05/19 15:00:44
いわし ☆☆☆☆	<p>統計学が他の学問では発見できないような因果関係を発見できるから最強だということを主張していた。統計を学部時代さぼっていたので、今更ながら統計の勉強になった。統計感覚をつかむのに有用だと思った。</p>	1-304	304P (200分)	169-177	2013/05/15 13:32:44
だんぼーる ☆☆☆☆☆	<p>「統計学とは何ぞや？」をわかりやすく説明してくれる一冊。内容的には簡単ですが、統計の本質的な意味や目的がきっちりまとめられています。具体的なテクニックや数式をほとんど解説しない分、歴史的背景や問題点など、機械的に数字を扱っているだけでは気づかない事柄に出会えます。初心者はもちろんですが、統計に詳しい人も一読の価値アリだと思います。データの取り方、扱い方、見せ方に対する意識を変えてくれるのでは。</p>	全て	304P (40分)	1章	2013/05/14 18:53:25
はやぶさ ☆☆☆	<p>昔々に勉強した統計学を思い出しました。統計学とはどういうことかわからない人が教養としての内容を知るには良い本だと思いました。</p>	家	304P (420分)		2013/05/13 15:23:52
なすび ☆☆☆☆☆	<p>統計学について勉強しようとして教科書から入って挫折した人におススメ。統計の手法について万遍なく抑えてあり、かつストーリー仕立てで説明してくれるのですと頭に入ってきます。</p>	1-304	304P (120分)		2013/05/08 17:07:30
じゃけん ☆☆☆☆	<p>タイトルに惹かれました。統計学が様々な学問に応用されていることが、わかりやすく解説されます。読めば必ず勉強になる本だと思いました。</p>	全て	304P (300分)	4章あたり	2013/05/07 13:18:31
	<p>この本の主旨は題名「統計学が最強の学問である」で端的に表現されていると思います。統計学がいかに使える学問であるかを説明していて、この本を読んでいるとすごく統計学の勉強意欲が上昇します。ただ、この本は統計学の入門書というよりは紹介本だというスタンスで読むことをおすすめします。最近書店に行かないのでよくわかりませんが、出版社がダイヤモンド社で内容がビジネスに偏っていたことから、主に読者として想定されているのはビジネスマンとして働く人たちでしょう。なので、たぶんビジネス本コーナーに並べられているような本であって、もともと学術的な記述に期待をしてはいけない部類の本だったようです。自分はこのことに気づかず、統計学の本なの</p>				

万年筆 ☆☆☆	<p>に数式がまったくでてこずいちいちイライラしていたので、これから読む人は数学的なアプローチにはあまり期待しないでください。</p> <p>あとは、「入門書」ではないので、統計学にこの本で興味をもっても、勉強するためにどの本を使えばいいのかわかりません。この点が非常に残念でした。うーん、参考文献として巻末に挙げられている本の内容を吟味するのも手でしょうか。</p> <p>ただ、統計学の「紹介本」としては非常に優秀だと思います。統計学の優れているところが歴史的背景とともに端的にまとめられているので。</p> <p>しかし、統計学という数学メインの学問なのに数式があまりでてこず東工大生にはあまり満足いくものではないものと思ひ、このような評価にしました。</p>			
	全部	304P (240分)	281-297	2013/04/12 23:13:05

massa ☆☆☆☆	<p>本屋さんに行くところの本を最近見ないことはないです。</p> <p>統計学を勉強することは実務に生きてくると教えてくれる本です。勉強しようと思います。</p>			
	304	304P (180分)		2013/04/11 17:16:42

まるちぶる ☆☆☆☆☆	<p>もとはcakesという有料プラットフォームで連載していた記事。ケイクスは粒ぞろいの良質異質な記事がたくさんあるのでオススメです、週150円で全部読めちゃいます。それはさておき……。</p> <p>統計学がやたらに注目されている昨今。関連する分野ではビッグデータやら何やらとこれまた喧しいわけですが、果たしてそういうのって本当に使い物になるの？統計統計というけれど、闇雲に信じちゃっていいの？そんな疑問を持っている方は必読です。持ってない人はさらに読まないといけません。</p> <p>悪い言い方をすれば、数字でヒトを騙す方法まで教えてくれるのがこの本です。ただ只管に統計の話をするのではなく、その歴史的背景やエピソードも多分に取り込まれており、楽しくかつ充実した読後感を得られる一冊。</p>			
	全て	304P (130分)	pp.2-33	2013/04/09 14:29:44

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

その数学が戦略を決める

著者名	イアン・エアーズ	発行年	2010年
出版社名	文春文庫	ページ数	453ページ
値段	733円	ISBN	978-4167651701
コメント	「絶対計算」何それ?と思ったらどうぞ。 各章にコンパクトなまとめが付いているので、そこをインデックス替わりに拾い読みすると早道です。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
フラン ☆☆	先生のコメントのように章ごとのまとめから入ったほうがいいかもしれません。 感想としては、なんとなく気持ち悪い。多分原著を訳す際に訳者の主観が混ざり込んでいるような印象。原著で中立を保ってるけど訳者が信仰者のなのかな?軸がよく分からず事例の列挙から「こんなこと出来るんだぜ。どやあ」の領域に入り込んでるかも。 主にこのような書籍を手にする人って数学が嫌いな人もいて、盲目的に信仰していそうで怖い 内容としては、そんなことも出来るんだねえ。という話のネタ程度で新たに得られた知見は少ないかな。機械がいくら精度高く予測できても人間の仕事はまだ残るかな? そんな感じの本です			
	1-200	200P (120分)		2013/04/22 23:55:07

[TOP](#) ^

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィー
ル

掲示板

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

景気を読みとく数学入門

著者名	小島寛之	発行年	2011年
出版社名	角川文庫	ページ数	249ページ
値段	705円	ISBN	978-4044094348
コメント	独占とか投機とかって、悪いことの代表のように考えているお母さんに		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ちょんまげ ☆☆☆☆☆	何気なく手に取って見たら、経済学の最前線のトピックが並んでいて驚いた。ほぼ予備知識なしで理解できるような配慮もされているので、私のような初学者でも容易に理解できた。もう少し参考文献が充実しているとより深く学習したいひとにとっては便利なものになるかなと思った。			
	全部	249P (150分)	第三章	2013/07/21 18:43:43
0120086144 ☆☆☆☆☆	興味はあるがまだ学習できていない電子メールゲームをはじめとするグローバルゲームのエッセンスにまさかここで触られるとは思わなかった。出会いに感謝。			
	17-46, 174-186	43P (60分)	興味のあるトピックで自分がまだ学習していないところ	2013/06/11 10:59:44
くい ☆☆☆☆☆	ファイナンスやバブルの仕組み等々、一見難しい経済学を具体的な分かりやすい例で説明しており、基本的な考え方については理解しやすかったです。理解しやすかったとともに、経済学の奥深さや複雑さ、不思議さも見え、面白かったです。			
	1-200	200P (240分)	108-134	2013/05/21 12:56:39
おさむ ☆☆☆	「失業者の存在」が高めの賃金設定の原因でもあり結果でもあるという考察は勉強になりました。でも、全体的に経済学的内容(数式で表現できる)をバーバルな表現に置き換えたような印象で、かえって理解しにくいものとなっていました。分かり易さを追求することも容易ではありませんな。			
	1-124	124P (100分)	83-86	2013/04/22 19:39:46

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

なぜ3人いると噂が広まるのか

著者名	増田直紀	発行年	2012年
出版社名	日本経済新聞出版社	ページ数	239ページ
値段	850円	ISBN	978-4532261559
コメント	ネットワーク分析の応用範囲の広さが楽しい。グーグル検索エンジンはもちろん、インフルエンザの感染も、生物の食物連鎖も、スポーツ選手の世界ランキングも、ああそういう観点で見てるのかと納得。じゃあ、自分は何に適用してみようかなと触発されるヒント集です。その意味では前半がおすすめ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
ゆー ☆☆☆☆	つい、この前の土日友達の女の子と飲んでたのですが、「〇〇から聞いたんだけどね、あっ言っちゃだめだよ！」みたいな切り口からスタート。それから2,3時間共通の友人の話が尽きず爆笑の嵐。			
	5章、6章、8章、9章ばらばらと	80P (15分)	6章	2013/07/30 17:07:39
潤 ☆☆☆☆	気軽に読める、理解しやすいネットワーク理論の本ですが、役に立ったというより、ほー、ほー、ほーほーというなるほど式の役割。(笑)			
	全部	239P (239分)		2013/07/30 16:00:10
vecky ☆☆☆☆☆	なにこれ、この研究絶対おもしろー！が最初にパラパラと読んだ時点での感想。初の☆5つけました。			
	何かが人間の間で伝染するような場合、3角形が基本のようです。			
飲み会のネタになりそうなので、これは自分でも購入を検討です。				

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

	全部	239P (150分)	第6章「流行を生みだすネットワーク」	2013/05/17 13:38:45
まるちぶる ☆☆☆☆	<p>3人組と言えばズッコケ3人組とかPerfumeとか、好きですねえ。花の中三トリオなんてのもありました。めくるめくトリオの世界、魅力的。</p> <p>本書はネットワーク理論を解説するという点でタイトルに偽りなし、なんだけど、三角形の強さがメインの話題となっています。三角形は面となって展開できる最小角形であり、その組み合わせや積み重ねがネットワークの強さを示すってわけです。人気者はヒトをうまく繋げてるんです、それを意識的にできれば素敵。</p> <p>一方、トライアングルの人間関係が安定である確率は1/2であり (!), しかも移ろいやすいので (!!), 冒頭で述べたトリオの魅力ってそういう奇跡から来てるのかもしれないね。</p>			
	全て	239P (90分)	pp.79-110	2013/04/25 20:34:46
ほしほし ☆☆☆☆☆	<p>私たちの社会にはたくさんのネットワークが張り巡らされている。中でも、三者間の関係である三角形が重要であると筆者は述べる。有用なネットワークには密なもの、まばらなものがあり、それぞれに強みがある。実生活においても応用できる関係の概念を学ぶことができる。</p>			
	1-239ページ	239P (130分)	1-5ページ	2013/04/10 21:13:20

[TOP](#) ^

ヒストリアンズ

みんなで本のむし

これからの「正義」の話をしよう

著者名	マイケル・サンデル	発行年	2011年
出版社名	早川書房	ページ数	475ページ
値段	945円	ISBN	978-4150503765
コメント	大ブームとなった哲学書。 破綻した銀行に公的補助は必要？ のような事例から、ベンサムやロールズや、判断のよりどころとなる思考体系へといざなってゆく手法が絶妙。哲学の高い峯のはずなのに、名案内人のおかげでするす登れてしまう、みたいな。 がっつり取り組んでも実りは多いけれど、ここは濫読道場。 ぱっと開いて具体的な事例を探す →自分だったらどう判断するか30秒だけ考える →解説を読んで自分は功利主義者かリバタリアンか判断するというつまみ食い法も有効です。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
じゃけん ☆☆☆	とても明快な文章であった。正義について論理的に事例を出しながら紐解いていく文章には、納得せざるおえないものがあった。またNHKでも放送されていたので、文章を読むのにも、とっつきやすかったといえる。			
	1~3章	123P (90分)		2013/07/31 22:32:57
river.i ☆☆☆	正義とはなにか？考えさせられる一冊だった。 ある視点からは正しいが別の視点から分析すると正しくない。 そんなことが多く今までの選択が不安に…。 これからは生かしていきたい。			
	1-100	100P (60分)		2013/07/31 11:40:08
はやぶさ ☆☆☆	昔々に倫理学で出てきた哲学者がいっぱい出てきました。そんなシチュエーションあるかよ！と思うところもあるのですが、非常に深く考察されており、各哲学者がいう行動指針を具体的に把握することができます。			
	前半	200P (150分)		2013/07/30 17:39:16
潤 ☆☆☆	やや読みづらいですが、こつこつ読むと収穫がある。物事を多角的に見るとそれぞれの立場での正義は必ずしも一つではないということに改めて気付かされた。			

図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

映画一覧

プロフィール
一覧

自己プロフィール

掲示板

	全部	475P (475分)		2013/07/30 15:39:25
おさむ ☆☆☆☆☆	<p>なんと言っても分かり易い!! 政治哲学を勉強したい人にとっての入門書としては最適なのは! ?でもこれで分かったつもりになって、本物のロールズやJ.ミルに当たると…あれ? ?ってなりますwww マイケル・サンデル頭良し。</p>			
	1-120	120P (90分)		2013/07/29 17:02:49
なすび ☆☆☆	<p>授業でもやった内容がちらほらみえたけれど、うーん、読み進むのに時間がかかる内容でしたw 数字の価値だけを判断基準に入れるのが正義なのか、経済学を少し勉強している身としては新しい道徳的な視点を見れて勉強になりました。</p>			
	1~3章	123P (120分)		2013/07/29 03:20:52
だんぼー ☆☆☆☆☆	<p>直感や感情による「正義」の判断を、問題を切り分けながらバツバツと紐解いていく。典型的な問題に置き換えてシンプルにしていく感覚は爽快。 そのうえで、答えを提示するのではなく、考える問題を与えてくれる。 非常に頭を使いますが、読んでよかったと心から思える一冊です。</p>			
	全部	475P (220分)		2013/07/02 01:28:39
pinpon ☆☆☆☆☆	<p>いろんなことを考えさせられる。特に、後半の部分で扱っている徴兵制、ゴルフ、アフターマティブアクションは読むべきです。</p>			
	全部	475P (300分)	アフターマティブアクションの章	2013/07/01 14:55:32
曦 ☆☆☆☆☆	<p>正義について考えの道へ導くいい本です。 ところで、機会がある人に、Michael J. SandelのHarvard Open Course、「Justice: What's the Right Thing to Do?」を観るのがおすすめです。なぜかという、本の内容と殆ど同じで、ビデオでSandelが学生に質問され、学生が自分の意見を出しますので、もっと深く理解できるでしょう。</p>			
	全部	472P (200分)		2013/06/28 12:24:07
ほしほし ☆☆☆☆☆	<p>日常の意思決定の際に参考となる哲学を、多くの事例を交えながら紹介してある。リバタリアンやカントなど名前だけ知っていた単語も、分かりやすく理解できた。今後の生活の中で、正義の思考を活かしていけたら良いなと感じた。</p>			
	1-223ページ	223P (160分)	1-4ページ	2013/05/14 10:39:10
PON ☆☆☆☆☆	<p>カントなどの思想の説明の部分はちんぷんかんぷんだった。 しかし、具体的な事例の部分を読んで自分なりに考えるだけでも面白かった。</p>			
	1-223,265-289	248P (240分)		2013/05/07 10:49:11
ひゃくたむ ☆☆☆	<p>学部時代の授業で読めなくて、勢いで買った一冊。 例が多くて読みやすいはずなのに、ページはなかなかめくれない。まだ読むのは早かったと思っ てはや2年。就活中にでも読みます。</p>			
	ところどころ	100P (60分)		2013/04/19 17:01:19
	<p>カント、ロールズ、ロック、功利主義、リベラリズム、などのよく聞けれどいまちはっきりし</p>			

いわし
☆☆☆☆☆

ない言葉が具体例を用いて分かりやすく説明しており、楽しいです。

全部

472P (700分)

328-334

2013/04/15 21:29:55

[TOP](#)^